

## 先輩職員の紹介①



**【秘書課広報広聴係】**では、広報紙の発行や各種媒体での市政情報の配信、ホームページの管理・運営などを行う「広報」と、市政に関するご意見を聴く「広聴」の業務を行っています。私は主に、広報紙の作成や市政情報配信などを担当しています。毎月発行する広報紙は、市政情報をお知らせする他、「特集」や市で創業した方・スポーツで活躍する市内の学生のインタビューなど、様々な内容を掲載しています。カメラを持って市内のあらゆる場所に取材に行き、多くの人と関わりながら市の情報を発信できることにやりがいを感じています。大切にしているのは、市民の方が読みやすい文章となるように心掛けること。行政の取り組みなどは難しい用語が多いため、いかに分かりやすく市民の皆さんに伝えることができるか考えながら取り組んでいます。

### 志望動機

#### 『大好きな地元・豊川市のために働きたかったから』

就職活動の際、自分がどんな仕事をしたいか考えた時に一番最初に浮かんだのが地元で貢献できる仕事でした。市役所以外にも地元のために働くことのできる場所はたくさんあると思いますが、業務が幅広く、あらゆる分野から地元で貢献できると感じたことが豊川市役所に入庁した決め手です。また、豊川市役所の採用は人物重視で公務員対策不要の試験方法があるというところも魅力の一つでした。豊川市役所の職員はとても優しく、温かい人が多いです。仕事が大変なときでも、皆で協力して助け合いながら働けるところが良いところだと思います。

## 先輩職員の紹介②



**【行政課】**では、法律や政令などの改正があった場合、豊川市の条例や規則に影響があるかを確認し、改正が必要となった場合は関係する部署と連携しながら対応しています。特に条例は、何か義務を課したり権利を制限したりすることを定めることでさまざまな方面に影響を与えることがあったり、また制定や改正には議会の議決も必要になったりするため、誤りがないように慎重に進めることを意識しています。また、文書に関する業務には、市役所で扱う通知文や起案文など、公文書の取り扱いについてルールを定め、適切な取扱いを促し、各課からの問い合わせの対応を行っています。その他にも、情報公開に関する事務、庁舎内の印刷機の管理や郵便業務などさまざまな業務を行っています。

### 志望動機

#### 『大好きな豊川市のために働きたい！』

自分自身が生まれ育った豊川市に貢献できる仕事に就きたいと思ったのがきっかけです。大学では教育学について学んでいたため、教員になろうと考えたこともありましたが、自分の芯にある「豊川市のため」と考えたとき、教育だけでなくもっと広い範囲で豊川市に貢献したいと思いました。就活中、先輩職員の方から「市役所は異動が多いからこそ、いろんな経験ができ、自分の知識の幅も広がる」という話を聞きました。それを聞いたとき、さまざまな角度から市のために働くことができ、自身のスキルアップにもなると思い、市役所で働きたいと思いました。

## 先輩職員の紹介③



**【危機管理課】**では、地震や台風などの自然災害が発生したときには、防災アプリや屋外スピーカーを活用しながら、避難情報等の災害に関する情報を市民へ発信しています。また通常業務では、防災・減災の啓発を行っています。啓発業務の一例として、豊川市防災センターの団体見学を実施しており、小学生や町内会の方などを対象に防災講話を行っています。私は小学生の団体見学を担当しているため、小学生でも楽しく防災について学ぶことができるように、映像や展示物等を利用しながら、少しでも防災意識を高めていただけるよう努めています。

### 志望動機

#### 『多種多様な仕事ができる』

私の出身は豊川市ではありませんが、高校3年間で豊川市で過ごしました。その中で豊川市の明るく、温かい雰囲気惹かれ、豊川市の職員として働きたいと思うようになりました。また市役所の仕事は多岐に渡ります。異動を通じて様々な分野の業務を経験し、知識を増やすことができるため、自分の成長に繋がられる点にも大きな魅力を感じました。実際に働いていく中でも「これって市役所の仕事だったんだ」、「市役所ってこんなことするんだ」と知ることも多いです。現在入庁して2年目になりますが、上司や先輩、同僚に助けられながら、学びのある毎日を過ごすことができます。

## 先輩職員の紹介④



**【保育課】**では、保育園への入所、保育料、公立保育園の管理運営、給食指導、保育園の補助金に関する業務を日々行っています。その中でも私は入所に関する業務を担当しています。主な業務内容としては、電話や窓口で保育園の入所に関する相談等の対応をしています。また、保育園へ入所を希望している方の申し込み受付に加え、申し込んでいただいた申請内容を基にどなたをどの保育施設へご案内するか調整をしています。全ての方をご希望の保育施設へご案内することは定員等の都合により厳しいですが、空いているほかの園の中で再度調整するなど、少しでも良い結果をお伝えできるように努力しています。

### 志望動機

#### 『生まれ育った地元で働きたい』

私は、人のために何かをするのが好きだったので、人の役に立てる仕事をしたいと思っていました。また、公務員の安定している点や、営業成績などの数字に追われない点も魅力的でした。自分の希望に限りなく近いのが市役所職員だと思い、市役所に応募することにしました。数ある市役所の中で豊川市役所を選んだ理由は、生まれ育った市であるということが一番大きいです。自分が市役所職員として働くのを想像したとき、豊川市で働くことにやりがいを感じられると思い、豊川市役所を第一希望として就職活動をしました。実際に入ってみて気づいた豊川市役所の魅力は、新人へのサポートが手厚いことや、職員の人柄がよいところだと思います。職場の方々のおかげで、仕事が大変な時期を乗り越えることができました。

## 先輩職員に聞いてみた！市役所で働いてみて 嬉しかったこと

### 窓口で市民の方に「ありがとう」という言葉をもらったとき

窓口で保険料に関する詳しい説明をした際、市民の方に「なるほど。ありがとう」と言っていただけたときは嬉しかったです。新卒で何も分からない状態から、働くなかで知識をつけ、市民の方に分かりやすく説明できるようになったという自分の成長も感じる事ができました。市民の方が抱える悩みや問題を解決し、安心した表情を見ることができたときに、仕事のやりがいを感じます。（保険年金課職員）



### 子どもたちの成長を感じることができたこと

こぎつね教室の行事として、さつまいもの収穫体験を実施したとき、教室に通っている子どもたちが楽しそうにさつまいもを掘っていました。子どもたちに日本語で話しかけてみると、「楽しかった！」、「ありがとう」など日本語で答えてくれました。入室当初は日本語が話せなかった子が今では少し話せるようになっており、子どもたちの成長を感じることができ、この仕事に関わることができてよかったと嬉しく思いました。（市民協働国際課職員）

### 大きなイベントを成功させたときの達成感が、半端ないっ！！

社会人1年目で、2024トヨカワシティマラソン大会の主担当を担いました。トヨカワシティマラソンは豊川市内を各コース別に分かれて走るイベントです。参加人数は約1800人以上で豊川市内ではかなり大規模なイベントになります。大会のチラシ作成やエントリー集計、大会従事者の資料作成やカラーコーンや交通規制調整など、“1日”の大会の開催のためにかなり多くの準備、調整、作業を行いました。毎日が忙しすぎて、つらいと感じることもありましたが、職場の先輩や上司の助けもあり、なんとか成功させることができました。大会を終えて、反省点は多々ありますが、“チームで働くこと”の大切さを身に染みて感じました。達成感も疲労も半端なかったです！（スポーツ課職員）

